

土壌診断カルテ

圃場名：_____ 採土日：_____ 次に作る作物：_____ 土壌の種類：_____

分析した機関：_____

分析項目	単位	改良目標（基準値）	今回	前回	判定	対策・施肥への反映
pH（H2O）	—					
EC（電気伝導度）	mS/cm					
可給態リン酸	mg/100g					
交換性石灰（CaO）	mg/100g					
交換性苦土（MgO）	mg/100g					
交換性加里（K2O）	mg/100g					
CEC（陽イオン交換容量）	meq/100g					
塩基飽和度	%					
石灰／苦土比	当量比					
苦土／加里比	当量比					
土壌有機物（腐植）	%					
硝酸態窒素	mg/100g					
可給態窒素	mg/100g					
リン酸吸収係数						
有効態けい酸（水田）	mg/100g					

- 改良目標（基準値）には、分析結果票や県・JAの土壌診断基準の値を写します。作物・土壌の種類・水田か畑かで変わります。
- 記入例の改良目標は、国の地力増進基本指針（普通畑・灰色低地土などの区分）とJA全農の資料にある目安です。記入例の分析値は架空のものです。
- 土は収穫後、次の耕起・施肥の前に、圃場の対角線上の5か所ほどから作土の深さまで採り、よく混ぜて1つの試料にします。
- 石灰資材や肥料の量は、分析機関・JA・普及センターの処方に従ってください。

土壌診断の年ごとの推移（圃場別）

経営者名：_____

採土日	圃場名	pH	EC	可給態リン酸	塩基飽和度	土壌有機物	入れた土壌改良資材・減らした肥料	次の採土予定
例 2026/11/20	東1号	5.6	0.15	85	59%	2.5%	苦土石灰100kg/10a、堆肥2t/10a。リン酸を減らした肥料に変更	2027年秋

- 同じ圃場を毎年同じ時期に採ると、前年と比べやすくなります。